

## 天童一中2年 遠藤詩歩さん

## 県内初 中学生の珠算九段



天童市の天童一中2年遠藤詩歩さん（14）が日本珠算連盟（日珠連）の段位認定試験で、珠算九段に合格した。中学生での九段合格は県内で初めて。幾つもの最年少記録を打ち立ててきた天才少女が、新たな快挙を成し遂げた。

遠藤さんは幼稚園年中の時、市内の平藤そろばん・あんさん教室に通い始めた。めきめきと実力を伸ばし、小学2年で珠算、暗算とも三段に合格した。2021年度には日珠連や日本商工会議所が主催する試験全5種目で五段以上に合格し、5種表彰を受けた。

段位認定試験は掛け算、割り算、見取り算の3種目で、掛け算と割り算が各60問、見取り算が30問出題される。それぞれ

珠算九段の認定証を受けた遠藤詩歩さん（右）と武田芳子師範  
 〓天童市荒谷、平藤そろばん・あんさん教室

## 3度目で合格「目標達成うれしい」

制限時間10分で、各種目300点満点中260点以上が九段の合格基準となっている。

週2回の稽古のほか自宅でも毎日問題に向かうという遠藤さん。武器とする計算のスピードに加え、正確性を上げられるように意識しながら練習を重ね、今年2月12日に行われた試験で合格点に達した。「3回目の挑戦で目標を達成できてうれしい。今月下旬の段位認定試験では、暗算八段合格を目指して頑張りたい」と笑顔を見せた。

「本人にとっても大変だったと思うが、うちの教室のエースとしてよく頑張ってくれた」と武田芳子師範。遠藤さんは師範から「壁は高いかもしれないが、最高位の珠算十段にも挑戦してもらいたい」と期待を寄せられると、「中学生のうちに合格できるように頑張りたい」と力強く応えた。

（落合慶）